



夏季手当がないと困る！

これが職場集会等で出された現場の声です！

◆生活実感

- ・生活費が足らず、個人年金の解約に踏み込まざるを得なかった。手当がなく、元々の給与水準が苦しい日勤職ではもう限界
- ・生活費を確保するために、配偶者が働きに出ることを考えている
- ・昨年度は年収が1割減る中、月々の赤字補填を期末手当に頼る部分がある。手取りで50万円は必要
- ・ボーナス月に車などのローン支払いが36万円もある。このままでは子どもやマイホーム購入も厳しい
- ・車のローンと学資ローンを合わせ、20万円をボーナス払い。それに毎月の生活費の補填分を足すと総支給で80万円は必要
- ・コロナ禍で旅行などを我慢している。（コロナ終息後の東日本地域を旅行で元気にするためにも）総支給70万円程度を求めたい
- ・生活するには最低でも年収500万円程度が必要ではないか

◆黒字化・コロナ対策への努力

- ・不要金属の売却や配送料の削減など、増収やコストダウンの努力を積み重ねている
- ・所定の業務に加えて車内換気や消毒対応を行い、さらに変革2027実現のために委員会活動も取り組んでいる。会社経営のために黒字化を目指して活動していることも知ってほしい
- ・車内や職場内での消毒が増え、コロナ前より業務の負担は増加している。特別手当5万円は絶対に必須
- ・機動班では、車内換気のための側窓修繕やダンパ回路の改修、目安ステッカー貼付などコロナ対策工事が大変だった。そこに対する一時金があっても良い！
- ・これまで業績が良くても「先行き不透明」として支給額が抑制されてきた。今こそ安定的に支給し、安心感を持たせてほしい

**会社との「団体交渉」ができるのは労働組合だけです！
現場の切実な想いを訴えるため、JR東労組に集まろう！**